

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	霧島Wing			
○保護者評価実施期間	令和8年1月21日		～	令和8年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	令和8年1月21日		～	令和8年1月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月21日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域のつながりと家族支援。	子供の様子を包括的に理解・サポートする為に、子供との日々の会話、保護者との面談に加え、学校の先生や学童の先生、地域の方との交流を密に行っている。	子供の発達に伴う環境の変化(進学)は避けられないが、それに伴い子供の周囲のサポート体制変化していく。私共のような福祉施設は長くかかわれることが強みなので、今後も継続、維持していく。
2	感覚統合、運動訓練、学習支援、SST。	継続的に子供の身体の土台作り、社会性、学習サポートを意識し個に合わせた内容を設定し取り組んでいる。	運動プログラムの更新や、器具等の充実、出来てきつつある子供達の土台の再構築、身体づくり、学習をよりサポートしていけるように日々の環境の見直し、活動の見直しを行っていく。
3	適切な支援の提供。アンケートで多くの保護者に全項目に対して「はい」の返答を頂けた。保護者の理解度が高い。	子供の強みや苦手を職員間で密に話し、やり取りを行い支援にあたっている。保護者と現状のすり合わせ、実態に沿った支援になるように心掛けている。	継続と維持

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	フォーマルアセスメントの実施	フォーマルアセスメントの研修の機会が少なく、実施できる有資格者のスタッフがいないのが現状。	Wingにつながる前後は行政機関や病院などで、フォーマルアセスメントを行っているケースも多い。その理解を共有して支援に生かせるように体制を整える。
2	情報提供や研修会の実施回数	保護者、兄弟向けのイベント(講演会)を行ったが、参加された方には伝わったようだが、参加されなかった方には、行ったことさえ忘れていた現状。仕事の都合などで参加が難しい家庭も多かった。参加いただけただ方には講評をいただいた。	実施回数を増やす。イベントや研修会の実施の方法を工夫しつつ日々の保護者と会話、連絡を大切に支援していく。
3	家族支援(家庭で出来る親子のかかわり方の研修)	家族支援がその子に対しての親の悩み相談等がメインなので、家庭で出来る親子のかかわり方の研修や情報提供を増やしていく。	例えばペアトレとは何か等、情報をわかりやすく簡潔にし、研修やイベント等にも参加しやすくする。家族の実態に沿った支援を話し合いながら提供していく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		霧島Wing					公表日	令和8年2月27日	
		利用児童数					27	回収数	23
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1		1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22			1		ハローワークに求人申請中	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1			勉強、話をするスペース、運動するスペースでしっかり区切られていて、それぞれの環境設定がされている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22			1	いつ行っても綺麗。子供たちがいても荷物がしっかり片付いていたり、綺麗な環境。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23				十分に理解して頂いている。運動面、コミュニケーション面、色々な面で子供に合わせて支援受けることが出来ている。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			1		理解が難しい方にも分かり易くお伝えするようにする。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23				長期・短期的な課題、どちらも子供をしっかりと分析して作成してもらっている。		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23				具体的な支援内容で、活動を直接みなくても、支援受けている事がわかる		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23				とても思う		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21			2	その日その日の活動プログラムが分かるようにして頂けたら、子供との接し方や、会話も増えるのではと思います。	活動内容等は、毎回引き渡しの際に伝えるようにしています。気になったことはLINEなどを使って伝えるようにする。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	23				他の学童さんや、近くの幼稚園との交流をしていて、子供を楽しみにしている。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	2		1		入会時、更新時に伝えるようにしているが、更新時にも、入会時とおなじように説明する。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	2				担当者会議や、個別支援計画書作成前に確認しながら行っている。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1	2	3	夏休みに家族への講和の機会があったが、タイミングが合わなかった。研修会などは参加してみたい。	ペアトレ等は対象者が少ないので、親子勉強会や情報提供を増やしていく。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23				共通理解すごくてきていると思います。小さな変化にも寄り添ってもらえる。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22			1	計画を立てる前、こちらが相談があったとき、子供がいつもと違う様子がある時、相談や支援をしてもらえる。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23				どの先生も温かく支援してくださる。子供から話を切っても、全員の先生の名前が出てくるので、みんなで支援して頂けていると感じます。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	2	3	3		イベントの回数を増やす。きょうだいに、気をかけ、聴いたり、語り合ったりの機会を増やす。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23				気軽に相談できる。業務が忙しい中、時間を取ってもらえたり対応して頂いている。		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	1		1	通信やLINEで発信されている。	伝わっていない人もいるようなので、手紙とLINE両方で対処するようにする。	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	2	1	4		担当者会議などで、説明周知するようにしていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			4		毎月行っているが、伝わっていない。安心して頂くために、実施日等は発信するようにする。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1				担当者会議などで、説明周知するようにしていく。安心して頂くために、実施日等は発信するようにする。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23					
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23				学校、事業所、迎えの場所までの送迎も事業所内外での活動も説明があったり、見通しを持つことが出来るし、安心して通所することが出来る。	全員が「はい」だったので感謝しかありません。
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23				楽しい活動、頑張る活動などありますが、楽しみにしています。	全員が「はい」だったので感謝しかありません。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				子供絵の支援はもちろん、保護者への支援も含め、大変満足している。近くにWingがありとてもありがたいです。	全員が「はい」だったので感謝しかありません。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	霧島Wing		公表日	令和8年 2月27日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容を分けたり、ずらしたり工夫しながら限りあるスペースを有効利用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		人数が多くなる日には、予定外でもパート職員に出勤してもらい、規定の人数を見れるようにしている。	職員を増やすべくハローワークに求人を申請中
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚化の表示を作成して張り出している。ランドセルを整理できるようにかご等を準備して工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		朝夕の清掃	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーティションの活用	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		OODAループを用いて決定したことを軸に、plan（計画）を立てて、Do（実行）するようにしている	観察力と状況判断の強化
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		イベントとの実施を行った。	年1回から回数を増やす。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議等で意見の確認を行う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○、	第三者による外部評価は行っていない。	今後検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			職員を増やし、法人外研修に参加できるよう、ハローワークに申請中。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPIにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		支援計画を参照しながら作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		中間計画会議等で話し合い反映している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマルアセスメントの機械は少ないが、外部の検査結果を活用、共有している。インフォーマルアセスメントは日々行われている。	各年齢に応じた発達段階を入れた独自のアセスメントシートを作成。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		保育士中心で会議等で各個人の様子や課題等を別紙で見える化している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		定期的に見直しをしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		行われている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に確認し合っている。一人一人の課題を見える化しホワイトボードに張り出している。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		タブレット入力での共有をしている。指導後は話の時間を設けている。	時間の関係で、会議のような形になっていないが、振り返りにはなっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		タブレット入力での共有をし、次回の参考にしている。	当日の終了後に細かな振り返りは難しいが、次回の支援の参考にしている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		状況に応じて行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		選択の自立から意識して活動を主としている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携は出来ていると思う。	医療機関とのつながりが弱め。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		連携は取れている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		障害福祉サービス事業所等へ移行がまだない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		機会は少ない	センター等で行われる研修の参加を増やす。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		ある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		LINEや連絡帳でやり取りしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		講演会の企画はしたが、家族の研修までは至らない。	ペアトレの対象者は少ないが、その他の企画の回数を増やす。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		児発管が状況に応じた応対をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			仕事等での保護者会の参加率を考えると機会は設けていない。兄弟の支援をしているところもあるが、全てではない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		手紙等で発信している（Wing便り）	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		している。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		Wing祭りの企画。地域の方も寄ってくれる。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		訓練を行っている。	周知不足は否めない。担当者会議やモニタリングの際周知してみる。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		実施している。	備えについては、随時補充中
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。			服薬、てんかん発作無し	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			食物アレルギーの報告なし	医師の指示書無し
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		施設内研修、訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			周知不足は否めない。担当者会議やモニタリングの際周知してみる。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		報告書の作成。報告	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		入所時、児発管から説明。了解を得ている。	